

大腸がん

No	レジメン名 (投与量)	1サイクル (日)
1	SOX (80/130)	21
2	SOX + BEV (80/130/7.5)	21
3	SIR (80/150)	21
4	SIRB (80/150/7.5)	21
5	XELOX (2000/130)	21
6	XELOX + BEV (2000/130/7.5)	21
7	XELIRI (1600/150)	21
8	XELIRI + BEV (1600/150/7.5)	21
9	mFOLFOX6 (200/OHP85/400/2400)	14
10	mFOLFOX6 + BEV (200/OHP85/400/2400/5)	14
11	FOLFIRI (200/IRI150/400/2400)	14
12	FOLFIRI + BEV (200/IRI150/400/2400/5)	14
13	FOLFIRI + RAM (200/IRI150/400/2400/8)	14
14	C-mab (400→250)	7
15	C-mab500 (500)	14
16	SIR + C-mab (80/150/400→250)	21
17	SOX + C-mab (80/130/400→250)	21
18	P-mab (6)	14
19	IRI + P-mab (150→6)	14
20	mFOLFOX6 + P-mab (200/OHP85/400/2400/6)	14
21	FOLFIRI + P-mab (200/IRI150/400/2400/6)	14
22	sLV5FU2 (200/400/2400)	14
23	sLV5FU2 + BEV (200/400/2400/5)	14
24	S-1 + IRI (IRIS) (80/125)	28
25	S-1 + IRI (IRIS) + BEV (80/125/5)	28
26	FOLFOXIRI (200/OHP85/IRI150/3000)	14
27	FOLFOXIRI + BEV (200/OHP85/IRI150/3000/5)	14
28	ロンサーフ + BEV (70/5)	28
29	キイトルーダ [®] (200)	21
30	L-OHP + P-mab (130/6)	21
31	ENCO+BINI+C-mab(300/90/400→250)	28
32	ENCO+C-mab (300/400→250)	28
33	FOLFOXIRI+Cmab (200/OHP85/IRI150/3000/500)	14
34	5-FU+ I -LV+Cmab(維持療法)	14
35	SIR + P-mab (80/150/6)	21
36	SOX + P-mab (80/130/6)	21

2025.3作成

No.1

SOX

			1コース(21日間)						
順序	治療内容	投与時間	1日目	8日目	15日目	22日目
点滴前	ビラノア錠20mg 1錠 ファモチジンD錠20mg 1錠 内服		●						●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●						●
2	オキサリプラチン点滴静注液 130mg/m ² デキサート注射液6.6mg 1V 5% ブドウ糖注射液 500mL	120分	●						●
3	生理食塩液 50mL	FREE	●						●
内服	エスエーワン(S-1) 1回40mg/m ² 1日2回 BSA<1.25m ² 40mg/回 1.25m ² ≦BSA<1.5m ² 50mg/回 1.5m ² ≦BSA 60mg/回		● (夕食後から内服)		●●●●●●● (14日間内服)		● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)		● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)

※術後補助療法：8コース(4コースの場合あり)、進行・再発：PDまで

※ビラノア、ファモチジンは院内で内服済み

★S-1はCcr<60ml/分で減量、30ml/分未満で投与不可。

★S-1はワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。

★S-1はワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、S-1中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。

No.2

SOX+BEV

			1コース(21日間)						
順序	治療内容	投与時間	1日目	8日目	15日目	22日目
点滴前	ビラノア錠20mg 1錠 ファモチジンD錠20mg 1錠 内服		●						●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●						●
2	アバスチン点滴静注 7.5mg/kg 生理食塩液 100mL	90分	●						●
3	オキサリプラチン点滴静注液 130mg/m ² デキサート注射液6.6mg 1V 5% ブドウ糖注射液 500mL	120分	●						●
4	生理食塩液 50mL	FREE	●						●
内服	エスエーワン(S-1) 1回40mg/m ² 1日2回 BSA<1.25m ² 40mg/回 1.25m ² ≦BSA<1.5m ² 50mg/回 1.5m ² ≦BSA 60mg/回		● (夕食後から内服)		●●●●●●●● (14日間内服)		● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)		● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)

※ビラノア、ファモチジンは院内で内服済み

★S-1はCcr<60ml/分で減量、30ml/分未満で投与不可。

★S-1はワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。

★S-1はワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、S-1中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。

No.3

SIR

			1コース(21日間)						
順序	治療内容	投与時間	1日目	・・・	8日目	・・・	15日目	・・・	22日目
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●						●
2	イリノテカン点滴静注液 150mg/m ² 生理食塩液 500mL	90分	●						●
3	生理食塩液 50mL	FREE	●						●
内服	エスエーワン(S-1) 1回40mg/m ² 1日2回 BSA<1.25m ² 40mg/回 1.25m ² ≦BSA<1.5m ² 50mg/回 1.5m ² ≦BSA 60mg/回		● (夕食後 から内 服)	●●●●●●	(14日間内服)		● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)		● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)

- ★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。
- ★S-1はCcr<60ml/分で減量、30ml/分未満で投与不可。
- ★S-1はワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。
- ★S-1はワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、S-1中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。

No.4

SIRB

		1コース(21日間)							
順序	治療内容	投与時間	1日目	・・・	8日目	・・・	15日目	・・・	22日目
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●						●
2	アバスチン点滴静注 7.5mg/kg 生理食塩液 100mL	90分	●						●
3	イリノテカン点滴静注液 150mg/m ² 生理食塩液 500mL	90分	●						●
4	生理食塩液 50mL	FREE	●						●
内服	エスエーワン(S-1) 1回40mg/m ² 1日2回 BSA < 1.25m ² 40mg/回 1.25m ² ≤ BSA < 1.5m ² 50mg/回 1.5m ² ≤ BSA 60mg/回		● (夕食後 から内 服)	●●●●●● (14日間内服)	● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)				● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

★S-1はCcr<60ml/分で減量、30ml/分未満で投与不可。

★S-1はワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。

★S-1はワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、S-1中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。

No.5

XELOX

			1コース(21日間)						
順序	治療内容	投与時間	1日目	8日目	15日目	22日目
点滴前	ビラノア錠20mg 1錠 ファモチジンD錠20mg 1錠 内服		●						●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●						●
2	オキサリプラチン点滴静注液 130mg/m ² デキサート注射液6.6mg 1V 5% ブドウ糖注射液 500mL	120分	●						●
3	生理食塩液 50mL	FREE	●						●
内服	カペシタビン(Cape) 1回1000mg/m ² 1日2回 BSA < 1.36m ² 4錠/回 1.36m ² ≤ BSA < 1.66m ² 5錠/回 1.66m ² ≤ BSA < 1.96m ² 6錠/回 1.96m ² ≤ BSA 7錠/回		● (夕食後から内服)		●●●●●● (14日間内服)		● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)		● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)

※術後補助療法：8コース(4コースの場合あり)、進行・再発：PDまで

※ビラノア、ファモチジンは院内で内服済み

★Capeは、1000mg/m²/回(C法)の減量・休薬基準に準ずる。

★Capeは、Ccr<50ml/分で減量、30ml/分未満で投与不可。

★Capeはワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。

★Capeはワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、Cape中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。

★HFS予防でヘパリン類似物質クリーム塗布

No.6

XELOX+BEV

			1コース(21日間)						
順序	治療内容	投与時間	1日目	8日目	15日目	22日目
点滴前	ビラノア錠20mg 1錠 ファモチジンD錠20mg 1錠 内服		●						●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●						●
2	アバスチン点滴静注 7.5mg/kg 生理食塩液 100mL	90分	●						●
3	オキサリプラチン点滴静注液 130mg/m ² デキサート注射液6.6mg 1V 5% ブドウ糖注射液 500mL	120分	●						●
4	生理食塩液 50mL	FREE	●						●
内服	カペシタビン(Cape) 1回1000mg/m ² 1日2回 BSA < 1.36m ² 4錠/回 1.36m ² ≤ BSA < 1.66m ² 5錠/回 1.66m ² ≤ BSA < 1.96m ² 6錠/回 1.96m ² ≤ BSA 7錠/回		● (夕食後から内服)	●●●●●●●● (14日間内服)		● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)		● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)	

※ビラノア、ファモチジンは院内で内服済み

★Capeは、1000mg/m²/回(C法)の減量・休薬基準に準ずる。

★Capeは、Ccr<50ml/分で減量、30ml/分未満で投与不可。

★Capeはワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。

★Capeはワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、Cape中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。

★HFS予防でヘパリン類似物質クリームTMの塗布

No.7

XELIRI

			1コース(21日間)						
順序	治療内容	投与時間	1日目	8日目	15日目	22日目
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●						●
2	イリノテカン点滴静注液 150mg/m ² 生理食塩液 500mL	90分	●						●
3	生理食塩液 50mL	FREE	●						●
内服	カペシタビン(Cape) 1回800mg/m ² 1日2回 BSA<1.31m ² 3錠/回 1.31m ² ≦BSA<1.69m ² 4錠/回 1.69m ² ≦BSA<2.07m ² 5錠/回 2.07m ² ≦BSA 6錠/回		● (夕食後から内服)	●●●●●●●● (14日間内服)			● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)		● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

★Capeは、1000mg/m²/回(C法)の減量・休薬基準に準ずる。

★Capeは、Ccr<50ml/分で減量、30ml/分未満で投与不可。

★Capeはワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。

★Capeはワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、Cape中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。

★HFS予防でヘパリン類似物質クリーム[®]の塗布

No.8

XELIRI+BEV

			1コース(21日間)						
順序	治療内容	投与時間	1日目	8日目	15日目	22日目
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●						●
2	アバスチン点滴静注 7.5mg/kg 生理食塩液 100mL	90分	●						●
3	イリノテカン点滴静注液 150mg/m ² 生理食塩液 500mL	90分	●						●
4	生理食塩液 50mL	FREE	●						●
内服	カペシタビン(Cape) 1回800mg/m ² 1日2回 BSA < 1.31m ² 3錠/回 1.31m ² ≤ BSA < 1.69m ² 4錠/回 1.69m ² ≤ BSA < 2.07m ² 5錠/回 2.07m ² ≤ BSA 6錠/回		● (夕食後から内服)		●●●●●● (14日間内服)		● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)		● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)

- ★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。
- ★Capeは、1000mg/m²/回(C法)の減量・休薬基準に準ずる。
- ★Capeは、Ccr<50ml/分で減量、30ml/分未満で投与不可。
- ★Capeはワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。
- ★Capeはワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、Cape中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。
- ★HFS予防でヘパリン類似物質剤の塗布

No.9

mFOLFOX6

順序	治療内容	投与時間	1コース(14日間)				
			1日目	15日目 6コース目以降	
点滴前	ビラノア錠20mg 1錠 ファモチジンD錠20mg 1錠 内服						●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●		●		●
2 (同時)	オキサリプラチン点滴静注 85mg/m ² 5% ブドウ糖注射液 250mL メインで	120分	●		●		●
2 (同時)	レボホリナート点滴静注用 200mg/m ² 5% ブドウ糖注射液 250mL 側管から	120分	●		●		●
3	フルオロウラシル注 400mg/m ²	2~3分	●		●		●
4	フルオロウラシル注 2400mg/m ² 生理食塩液 50mL	46時間	●		●		●

※6コース目以降のビラノア、ファモチジンは院内で内服済み

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

No.10

mFOLFOX6+BEV

順序	治療内容	投与時間	1コース(14日間)				
			1日目	15日目 6コース目以降	
点滴前	ビラノア錠20mg 1錠 ファモチジンD錠20mg 1錠 内服						●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●		●		●
2	アバスチン点滴静注 5mg/kg 生理食塩液 100mL	90分	●		●		●
3 (同時)	オキサリプラチン点滴静注 85mg/m ² 5% ブドウ糖注射液 250mL メインで	120分	●		●		●
3 (同時)	レボホリナート点滴静注用 200mg/m ² 5% ブドウ糖注射液 250mL 側管から	120分	●		●		●
4	フルオロウラシル注 400mg/m ²	2~3分	●		●		●
5	フルオロウラシル注 2400mg/m ² 生理食塩液 50mL	46時間	●		●		●

※6コース目以降のビラノア、ファモチジンは院内で内服済み

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

No.11

FOLFIRI

			1コース(14日間)		
順序	治療内容	投与時間	1日目	15日目
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●		●
2 (同時)	レボホリナート点滴静注用 200mg/m ² 生理食塩液 250mL 側管から	120分	●		●
2 (同時)	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 150mg/m ² 生理食塩液 250mL メインで	120分	●		●
3	フルオロウラシル注 400mg/m ²	2～3分	●		●
4	フルオロウラシル注 2400mg/m ² 生理食塩液 50mL	46時間	●		●

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

No.12

FOLFIRI+BEV

			1コース(14日間)		
順序	治療内容	投与時間	1日目	15日目
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●		●
2	アバスチン点滴静注 5mg/kg 生理食塩液 100mL	90分	●		●
3 (同時)	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 150mg/m ² 生理食塩液 250mL メインで	120分	●		●
3 (同時)	レボホリナート点滴静注用 200mg/m ² 生理食塩液 250mL 側管から	120分	●		●
4	フルオロウラシル注 400mg/m ²	2～3分	●		●
5	フルオロウラシル注 2400mg/m ² 生理食塩液 50mL	46時間	●		●

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

No.13

FOLFIRI+RAM

			1コース(14日間)		
順序	治療内容	投与時間	1日目	・・・	15日目
点滴前	ビラノア錠20mg 1錠 内服		●		●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●		●
2	サイラムザ点滴静注液 8mg/kg 生理食塩液 250mL	60分	●		●
3 (同時)	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 180mg/m ² 生理食塩液 250mL メインで	120分	●		●
3 (同時)	レボホリナート点滴静注用 200mg/m ² 生理食塩液 250mL 側管から	120分	●		●
4	フルオロウラシル注 400mg/m ²	2~4分	●		●
5	フルオロウラシル注 2400mg/m ² 生理食塩液 50m	46時間	●		●

※ビラノアは院内で内服済み

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

No.14

C-mab

RAS遺伝子野生型

・初回

1コース(7日間)

順序	治療内容	投与時間	1日目
点滴前	ビラノア錠20mg 1錠 内服		●
1	デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	30分	●
2	アービタックス注射液 400mg/m ² 生理食塩液 500mL	120分	●
3	生理食塩液 100mL	60分	●

・2コース目以降

1コース(7日間)

順序	治療内容	投与時間	8日目	15日目
点滴前	ビラノア錠20mg 1錠 内服		●		●
1	デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	30分	●		●
2	アービタックス注射液 250mg/m ² 生理食塩液 250mL	60分	●		●
3	生理食塩液 100mL	60分	●		●

※ビラノアは院内で内服済み

初回皮膚セット処方確認あり（ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠）

★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。

★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。

★皮膚症状対策としてミノマイシンを抗炎症作用目的で。

No.15

C-mab500

RAS遺伝子野生型

順序	治療内容	投与時間	1コース(14日間)		
			1日目	・・・	15日目
点滴前	ビラノア錠20mg 1錠 内服		●		●
1	デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	30分	●		●
2	アービタックス注射液 500mg/m ² 生理食塩液 500mL	120分	●		●
3	生理食塩液 100mL	60分	●		●

※ビラノアは院内で内服済み

□初回皮膚セット処方確認あり（ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠）

★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。

★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。

★皮膚症状対策としてミノマイシンを抗炎症作用目的で。

SIR+C-mab

RAS遺伝子野生型

			1コース(21日間)						
順序	治療内容	投与時間	1日目	・・・	8日目	・・・	15日目	・・・	22日目
点滴前	ピラノア錠20mg 1錠 内服		●		●		●		●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●		●		●		●
2 (初回のみ)	アービタックス注射液 400mg/m ² 生理食塩液 500mL	120分	●						
2'	アービタックス注射液 250mg/m ² 生理食塩液 250mL	60分			●		●		●
3	生理食塩液 100mL	60分※			●		●		●
4	イリノテカン点滴静注液 150mg/m ² 生理食塩液 500mL	90分	●						●
5	生理食塩液 50mL	FREE	●						●
内服	エスエーワン(S-1) 1回40mg/m ² 1日2回 BSA < 1.25m ² 40mg/回 1.25m ² ≤ BSA < 1.5m ² 50mg/回 1.5m ² ≤ BSA 60mg/回		● (夕食後 から内 服)	●●●●●●●● (14日間内服)		● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)			● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)

※ 2コース目以降、Day 1 に限り15分に短縮可。

※ピラノアは院内で内服済み

□初回皮膚セット処方確認あり（ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠）

★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。

★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。

★皮膚症状対策としてミノサイクリンを抗炎症作用目的で。

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

★S-1はCcr<60ml/分で減量、30ml/分未満で投与不可。

★S-1はワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。

★S-1はワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、S-1中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。

No.17

SOX+C-mab

RAS遺伝子野生型

		1コース(21日間)							
順序	治療内容	投与時間	1日目	・・・	8日目	・・・	15日目	・・・	22日目
点滴前	ピラノア錠20mg 1錠 ファモチジンD錠20mg 1錠	内服	●		●		●		●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V 水溶性ヒドロコトロン注射液100mg 1V 生理食塩液 50mL	30分	●						●
1'	デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	30分			●		●		
2 (初回のみ)	アーピタックス注射液 400mg/m ² 生理食塩液 500mL	120分	●						
2'	アーピタックス注射液 250mg/m ² 生理食塩液 250mL	60分			●		●		●
3	生理食塩液 100mL	60分※			●		●		●
4	オキサリプラチン点滴静注液 130mg/m ² デキサート注射液6.6mg 1V 5% ブドウ糖注射液 500mL	120分	●						●
5	生理食塩液 50mL	FREE	●						●
内服	エスエーワン(S-1) 1回40mg/m ² 1日2回 BSA<1.25m ² 40mg/回 1.25m ² ≦BSA<1.5m ² 50mg/回 1.5m ² ≦BSA 60mg/回		● (夕食後 から内 服)	●●●●●●●● (14日間内服)			● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)		● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)

※2コース目以降、Day 1 に限り15分に短縮可。

※ピラノア、ファモチジンは院内で内服済み

□初回皮膚セット処方確認あり (ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠)

★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。

★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。

★皮膚症状対策としてミノサイクリンを抗炎症作用目的で。

★S-1はCcr<60ml/分で減量、30ml/分未満で投

★S-1はワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。

★S-1はワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、S-1中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。

No.18

P-mab

KRAS遺伝子野生型

1コース(14日間)

順序	治療内容	投与時間	1日目	15日目
1	ベクティビックス点滴静注 6mg/kg 生理食塩液 100mL	60分	●		●
2	生理食塩液 100mL	FREE	●		●

★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。

★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。

★皮膚症状対策としてミノサイクリンを抗炎症作用目的で。

No.19

IRI+P-mab

			1コース(14日間)				
順序	治療内容	投与時間	1日目	・・・	8日目	・・・・・・	15日目
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●				●
2	生理食塩液 50mL ライン洗浄用	FREE	●				
3	ベクティビックス点滴静注 6mg/kg 生理食塩液 100mL	60分	●				●
4	生理食塩液 50mL ライン洗浄用 (ベクティビックス投与後1時間は要観察)	FREE	●				
3	イリノテカン点滴静注液 150mg/m ² 生理食塩液 500mL	90分	●				●
4	生理食塩液 50mL	FREE	●				●

□初回皮膚セット処方確認あり（ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠）

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。

★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。

★皮膚症状対策としてミノサイクリンを抗炎症作用目的で。

No.20

mFOLFOX6+P-mab

KRAS遺伝子野生型

1コース(14日間)

順序	治療内容	投与時間	1コース(14日間)				6コース目以降
			1日目	15日目	
点滴前	ピラノア錠20mg 1錠 ファモチジンD錠20mg 1錠 内服						●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●		●		●
2	生理食塩液 50mL ライン洗浄用	FREE	●		●		●
3	ベクティビックス点滴静注 6mg/kg 生理食塩液 100mL	60分	●		●		●
4	生理食塩液 50mL ライン洗浄用 (ベクティビックス投与後1時間は要観察)	FREE	●		●		●
5 (同時)	オキサリプラチン点滴静注 85mg/m ² 5% ブドウ糖注射液 250mL メインで	120分	●		●		●
5 (同時)	レボホリナート点滴静注用 200mg/m ² 5% ブドウ糖注射液 250mL 側管から	120分	●		●		●
6	フルオロウラシル注 400mg/m ²	2~3分	●		●		●
7	フルオロウラシル注 2400mg/m ² 生理食塩液 50mL	46時間	●		●		●

※6コース目以降のピラノア、ファモチジンは院内で内服済み

□初回皮膚セット処方確認あり（ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠）

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。

★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。

★皮膚症状対策としてミノサイクリンを抗炎症作用目的で。

No.21

FOLFIRI+P-mab

KRAS遺伝子野生型

1コース(14日間)

順序	治療内容	投与時間	1コース(14日間)		
			1日目	15日目
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●		●
2	生理食塩液 50mL ライン洗浄用	FREE	●		●
3	ベクティビックス点滴静注 6mg/kg 生理食塩液 100mL	60分	●		●
4	生理食塩液 50mL ライン洗浄用 (ベクティビックス投与後1時間は要観察)	FREE	●		●
5 (同時)	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 150mg/m ² 生理食塩液 250mL メインで	120分	●		●
5 (同時)	レポホリナート点滴静注用 200mg/m ² 生理食塩液 250mL 側管から	120分	●		●
6	フルオロウラシル注 400mg/m ²	2~3分	●		●
7	フルオロウラシル注 2400mg/m ² 生理食塩液 50mL	46時間	●		●

□初回皮膚セット処方確認あり (ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠)

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。

★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。

★皮膚症状対策としてミノサイクリンを抗炎症作用目的で。

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

No.22

sLV5FU2

			1コース(14日間)		
順序	治療内容	投与時間	1日目	15日目
1	グラニセトロン静注液3mg 1A デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●		●
2	レボホリナート点滴静注用 200mg/m ² 生理食塩液 250mL	120分	●		●
3	フルオロウラシル注 400mg/m ²	2~4分	●		●
4	フルオロウラシル注 2400mg/m ² 生理食塩液 50mL	46時間	●		●

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

No.23

sLV5FU2+BEV

			1コース(14日間)		
順序	治療内容	投与時間	1日目	15日目
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●		●
2	アバスチン点滴静注 5mg/kg 生理食塩液 100mL	90分	●		●
3	レボホリナート点滴静注用 200mg/m ² 生理食塩液 250mL	120分	●		●
4	フルオロウラシル注 400mg/m ²	2~4分	●		●
5	フルオロウラシル注 2400mg/m ² 生理食塩液 50mL	46時間	●		●

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

IRIS

		1コース(28日間)							
順序	治療内容	投与時間	1日目	・・・	8日目	・・・	15日目	・・・	29日目
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●				●		●
2	イリノテカン点滴静注液 125mg/m ² 生理食塩液 500mL	90分	●				●		●
3	生理食塩液 50mL	FREE	●				●		●
内服	エスエーワン(S-1) 1回40mg/m ² 1日2回 BSA<1.25m ² 40mg/回 1.25m ² ≦BSA<1.5m ² 50mg/回 1.5m ² ≦BSA 60mg/回		● (夕食後 から内 服)	●●●●●●●● (14日間内服)			● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)		● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

★S-1はCcr<60ml/分で減量、30ml/分未満で投与不可。

★S-1はワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。

★S-1はワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、S-1中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。

IRIS+BEV

		1コース(28日間)							
順序	治療内容	投与時間	1日目	・・・	8日目	・・・	15日目	・・・	29日目
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●				●		●
2	アバスチン点滴静注 5mg/kg 生理食塩液 100mL	90分	●				●		●
3	イリノテカン点滴静注液 125mg/m ² 生理食塩液 500mL	90分	●				●		●
4	生理食塩液 50mL	FREE	●				●		●
内服	エスエーワン(S-1) 1回40mg/m ² 1日2回 BSA<1.25m ² 40mg/回 1.25m ² ≦BSA<1.5m ² 50mg/回 1.5m ² ≦BSA 60mg/回		● (夕食後 から内 服)	●●●●●●●● (14日間内服)			● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)		● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

★S-1はCcr<60ml/分で減量、30ml/分未満で投与不可。

★S-1はワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。

★S-1はワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、S-1中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。

FOLFOXIRI

			1コース(14日間)					
順序	治療内容	投与時間	1日目	2日目	3日目	4日目	15日目
点滴前	イメンドカプセル125mg 1CP ビラノア錠20mg 1錠 内服 ファモチジンD錠20mg 1錠		●					●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1.5V 生理食塩液 50mL	15分	●					●
2	イリノテカン点滴静注液 150mg/m ² 5%ブドウ糖注射液 250mL	90分	●					●
3 (同時)	オキサリプラチン点滴静注 85mg/m ² 5% ブドウ糖注射液 250mL メインで	120分	●					●
3 (同時)	レボホリナート点滴静注用 200mg/m ² 5% ブドウ糖注射液 250mL 側管から	120分	●					●
4	フルオロウラシル注 3000mg/m ² 生理食塩液 50mL	46時間	●					●
内服	イメンドカプセル80mg 1CP			●	●			
	デカドロン錠4mg 2錠/朝・夕食後			●	●	●		

※イメンド125mg、ビラノア、ファモチジンは院内で内服済み

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

No.27

FOLFOXIRI+BEV

			1コース(14日間)					
順序	治療内容	投与時間	1日目	2日目	3日目	4日目	15日目
点滴前	イメンドカプセル125mg 1CP ビラノア錠20mg 1錠 内服 ファモチジンD錠20mg 1錠		●					●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1.5V 生理食塩液 50mL	15分	●					●
2	アバスチン点滴静注 5mg/kg 生理食塩液 100mL	90分	●					●
3	イリノテカン点滴静注液 150mg/m ² 5%ブドウ糖注射液 250mL	90分	●					●
4 (同時)	オキサリプラチン点滴静注 85mg/m ² 5%ブドウ糖注射液 250mL メインで	120分	●					●
4 (同時)	レボホリナート点滴静注用 200mg/m ² 5%ブドウ糖注射液 250mL 側管から	120分	●					●
5	フルオロウラシル注 3000mg/m ² 生理食塩液 50mL	46時間	●					●
内服	イメンドカプセル80mg 1CP デカドロン錠4mg 2錠/朝・夕食後			●	●			
				●	●	●		

※イメンド125mg、ビラノア、ファモチジンは院内で内服済み

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

No.28

ロンサーフ+BEV

			1コース(28日間)										
順序	治療内容	投与時間	1日目	・・・	6日目	・・・	8日目	・・・	13日目	・・・	15日目	・・・	29日目
1	生理食塩液 50mL(点滴ライン確保用)	FREE	●								●		●
2	アバチン点滴静注 5mg/kg 生理食塩液 100mL	90分	●								●		●
3	生理食塩液 50mL(点滴ライン洗浄用)	FREE	●								●		●
内服	ロンサーフ 1回 35mg/m ² 1日2回 BSA<1.07m ² 35mg/回 1.07m ² ≦BSA<1.23m ² 40mg/回 1.23m ² ≦BSA<1.38m ² 45mg/回 1.38m ² ≦BSA<1.53m ² 50mg/回 1.53m ² ≦BSA<1.69m ² 55mg/回 1.69m ² ≦BSA<1.84m ² 60mg/回 1.84m ² ≦BSA<1.99m ² 65mg/回 1.99m ² ≦BSA<2.15m ² 70mg/回 2.15m ² ≦BSA 75mg/回		● (夕食後から内服)	●●	● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)		● (朝食後まで休薬 夕食後から内服)	●●	● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)				● (夕食後から内服)

No.29

キイトルーダ

			1コース(21日間)		
順序	治療内容	投与時間	1日目	22日目
1	生理食塩液 50mL(点滴ライン確保用)	FREE	●		●
2	キイトルーダ点滴静注 200mg 生理食塩液 100mL	30分	●		●
3	生理食塩液 50mL(点滴ライン洗浄用)	FREE	●		●

No.30

L-OHP+P-mab

RAS遺伝子野生型

順序	治療内容	投与時間	1コース(21日間)		
			1日目	22日目
点滴前	ピラノア錠20mg 1錠 ファモチジンD錠20mg 1錠 内服		●		●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●		●
2	生理食塩液 50mL	FREE	●		●
3	ベクティビックス点滴静注 6mg/kg 生理食塩液 100mL	60分	●		●
4	生理食塩液 50mL ライン洗浄用 (ベクティビックス投与後1時間は要観察)	FREE	●		●
5	オキサリプラチン点滴静注液 130mg/m ² デキサート注射液6.6mg 1V 5% ブドウ糖注射液 500mL	120分	●		●
6	生理食塩液 50mL	FREE	●		●

※ピラノア、ファモチジンは院内で内服済み

□初回皮膚セット処方確認あり（ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠）

★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。

★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。

★皮膚症状対策としてミノサイクリンを抗炎症作用目的で。

No.31

ENCO + BINI + C-mab

RAS遺伝子野生型

・初回

			1コース(7日間)	
順序	治療内容	投与時間	1日目	
点滴前	ピラノア錠20mg 1錠 内服		●	
1	デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	30分	●	
2	アービタックス注射液 400mg/m ² 生理食塩液 500mL	120分	●	
3	生理食塩液 100mL	60分	●	
内服	ピラフトビ75mg 1回4カプセル 1日1回 朝食後		●	
	メクトビ15mg 1回3カプセル 1日2回 朝夕食後		●	

・2コース目以降

			1コース(7日間)		
順序	治療内容	投与時間	8日目	15日目
点滴前	ピラノア錠20mg 1錠 内服		●		●
1	デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	30分	●		●
2	アービタックス注射液 250mg/m ² 生理食塩液 250mL	60分	●		●
3	生理食塩液 100mL	60分	●		●
内服	ピラフトビ75mg 1回4カプセル 1日1回 朝食後		●	●(連日内服)	●
	メクトビ15mg 1回3カプセル 1日2回 朝夕食後		●	●(連日内服)	●

※ピラノアは院内で内服済み

□初回皮膚セット処方確認あり(ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠)

- ★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。
- ★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。
- ★皮膚症状対策としてミノマイシンを抗炎症作用目的で。
- ★治療開始当日はピラフトビ受け取り後に内服(夕食後でも可)
- ★翌日以降、ピラフトビは朝食後に内服 飲み忘れた場合→夕方までに気づいた場合は内服可
- ★治療開始当日はメクトビは夕食後から服用

No.32

ENCO + C-mab

RAS遺伝子野生型

・初回

1コース(7日間)

順序	治療内容	投与時間	1日目
点滴前	ピラノア錠20mg 1錠 内服		●
1	デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	30分	●
2	アービタックス注射液 400mg/m ² 生理食塩液 500mL	120分	●
3	生理食塩液 100mL	60分	●
内服	ピラフトビ75mg 1回4カプセル 1日1回 朝食後		●

・2コース目以降

1コース(7日間)

順序	治療内容	投与時間	8日目	15日目
点滴前	ピラノア錠20mg 1錠 内服		●		●
1	デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	30分	●		●
2	アービタックス注射液 250mg/m ² 生理食塩液 250mL	60分	●		●
3	生理食塩液 100mL	60分	●		●
内服	ピラフトビ75mg 1回4カプセル 1日1回 朝食後		●	● (連日内服)	●

※ピラノアは院内で内服済み

□初回皮膚セット処方確認あり (ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠)

★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。

★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。

★皮膚症状対策としてミノマイシンを抗炎症作用目的で。

★治療開始当日はピラフトビ受け取り後に内服 (夕食後でも可)

★翌日以降、ピラフトビは朝食後に内服 飲み忘れた場合→夕方までに気づいた場合は内服可

FOLFOXIRI+C-mab

			1コース(14日間)					
順序	治療内容	投与時間	1日目	2日目	3日目	4日目	・・・	15日目
点滴前	イメンドカプセル125mg 1CP ピラノア錠20mg 1錠 内服 ファモチジンD錠20mg 1錠		●					●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1.5V 生理食塩液 50mL	15分	●					●
2	アービタックス注射液 500mg/m ² 生理食塩液 100mL	120分	●					●
3	イリノテカン点滴静注液 150mg/m ² 5%ブドウ糖注射液 250mL	90分	●					●
4 (同時)	オキサリプラチン点滴静注 85mg/m ² 5% ブドウ糖注射液 250mL メインで	120分	●					●
4 (同時)	レポホリナート点滴静注用 200mg/m ² 5% ブドウ糖注射液 250mL 側管から	120分	●					●
5	フルオロウラシル注 2400mg/m ² 生理食塩液 50mL	46時間	●					●
内服	イメンドカプセル80mg 1CP デカドロン錠4mg 2錠/朝・夕食後			● ●	● ●	●		

※イメンド125mg、ピラノア、ファモチジンは院内で内服済み

□初回皮膚セット処方確認あり（ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠）

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。

★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。

★皮膚症状対策としてミノマイシンを抗炎症作用目的で。

★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。

No.34

5FU+ I -LV+C-mab

			1コース(14日間)					
順序	治療内容	投与時間	1日目	2日目	3日目	4日目	15日目
	ビラノア錠20mg 1錠		●					●
1	生理食塩液 50mL	15分	●					●
2	アービタックス注射液 500mg/m ² 生理食塩液 100mL	120分	●					●
3	レボホリナート点滴静注用 200mg/m ² 5% ブドウ糖注射液 250mL 側管から	120分	●					●
4	フルオロウラシル注 2400mg/m ² 生理食塩液 50mL	46時間	●					●

※ビラノアは院内で内服済み

□初回皮膚セット処方確認あり（ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠）

○最後のフルオロウラシルはインヒューザーポンプで46時間かけて投与。

★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。

★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。

★皮膚症状対策としてミノマイシンを抗炎症作用目的で。

SIR+P -mab

RAS遺伝子野生型

			1コース(21日間)						
順序	治療内容	投与時間	1日目	・・・	8日目	・・・	15日目	・・・	22日目
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V デキサート注射液6.6mg 1V 生理食塩液 50mL	15分	●						●
2	生理食塩液 50mL	5分	●						●
3	ベクティビックス点滴静注液 6 mg/kg 生理食塩液 100mL	60分	●						●
4	生理食塩液 50mL	5分	●						●
4	イリノテカン点滴静注液 150mg/m ² 生理食塩液 500mL	90分	●						●
5	生理食塩液 50mL	FREE	●						●
内服	エスエーワン(S-1) 1回40mg/m ² 1日2回 BSA<1.25m ² 40mg/回 1.25m ² ≦BSA<1.5m ² 50mg/回 1.5m ² ≦BSA 60mg/回		● (夕食後 から内 服)	●●●●●● (14日間内服)		● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)		● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)	

□初回皮膚セット処方確認あり (ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠、ヘパリン類似物質軟膏)

- ★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。
- ★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。
- ★皮膚症状対策としてミノサイクリンを抗炎症作用目的で。
- ★即発性の下痢には、ブスコパンを内服。遅発性の下痢には、ロペラミドを使用。遅発性下痢がひどい場合は脱水に注意が必要である。
- ★S-1はCcr<60ml/分で減量、30ml/分未満で投与不可。
- ★S-1はワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。
- ★S-1はワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、S-1中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。

SOX+P -mab

RAS遺伝子野生型

1コース(21日間)

順序	治療内容	投与時間	1コース(21日間)						
			1日目	・・・	8日目	・・・	15日目	・・・	22日目
点滴前	ビラノア錠20mg 1錠 ファモチジンD錠20mg 1錠 内服		●						●
1	パロノセトロン静注0.75mg 1V 生理食塩液 50mL	30分	●						●
2	生理食塩液 50mL	5分	●						●
3	ベクティビックス点滴静注液 6mg/kg 生理食塩液 100mL	60分	●						●
4	生理食塩液 50mL	5分	●						●
5	オキサリプラチン点滴静注液 130mg/m ² デキサート注射液6.6mg 1V 5% ブドウ糖注射液 500mL	120分	●						●
5	生理食塩液 50mL	FREE	●						●
内服	エスエーワン(S-1) 1回40mg/m ² 1日2回 BSA<1.25m ² 40mg/回 1.25m ² ≦BSA<1.5m ² 50mg/回 1.5m ² ≦BSA 60mg/回		● (夕食後 から内 服)	●●●●●●●● (14日間内服)	● (朝食後まで内服 夕食後から休薬)			● (朝食後まで休薬 夕食後から再開)	

※ビラノア、ファモチジンは院内で内服済み

□初回皮膚セット処方確認あり (ロコイドクリーム、ジフルプレドナート軟膏、ミノマイシン錠、ヘパリン類似物質軟膏)

- ★ざ瘡様皮疹出現時には、顔面：ロコイドクリーム 体部：ジフルプレドナート軟膏 塗布。
- ★乾燥部にはヘパリン類似物質軟膏 塗布。
- ★皮膚症状対策としてミノサイクリンを抗炎症作用目的で。
- ★S-1はCcr<60ml/分で減量、30ml/分未満で拮
- ★S-1はワルファリンとフェニトインとの相互作用で作用増強するおそれがあるため併用注意。
- ★S-1はワルファリンと併用でPT-INRが延長することある。併用期間中は週1回程度のINR測定し、S-1中止後1ヵ月間は観察することが望ましい。